




アプリ名	Safari (インターネット検索での調べ学習)
教科・領域	生活単元学習
学習形態	小集団(7名) ペア 個別
太田ステージ段階	I-3 ~ IV-2
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日本語かなテンキー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生徒同士で学習する様子</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ローマ字入力テンキー</div>  </div>	
1 アプリの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・Safari は iPad のインターネット版。インターネット検索ができる環境 (Wi-Fi 環境) であれば 1 台あるいは複数台で、気軽に調べたいことを検索できる。校内の Wi-Fi 環境が整っていないくても、Wi-Fi ルーターがあれば、接続できる。 ・言葉がある程度明瞭に表出できる子どもであれば、※Siri 機能 (ホームボタンを押したまま話しかける) を使って調べられることもできる。 ・校外学習の事前学習で、出かける場所のホームページ等を開き調べ学習をしたり、校内に咲いている植物を写真で撮り、写真と見比べながら植物の名前や特徴などを調べたりする等、児童生徒の必要な学習に応じて活用することができる。
2 使い方	<ol style="list-style-type: none"> ①Safari を押す。 ②インターネット検索画面で調べたいものを入力する。 ※または、ホームボタン (画面の下にあるボタン) を押しながら Siri 機能を使い、画面に向かって調べたいものを話しかける。 ③必要な情報が載っているサイトを探し、タッチしてページをめくったり、見やすいように拡大したりしながら調べる。
・どんな力がつくか	<ul style="list-style-type: none"> ・順番を守ったり、友達と話し合いながら一緒に操作をしたりと iPad を介して友達同士の関わりが多く見られるようになる。 ・日本語かなテンキーとローマ字入力テンキーを使い分けることにより、生徒の実態に合わせて提示することができます。 ・重度の障害のある生徒でも、触れるだけで画面が動くため、指先に視線がいき、視覚刺激と認知の統合としても学習効果がある。